

第86回全国安全週間を迎えるにあたって

労使による自主的な安全管理活動の推進を

愛知労働局長 新宅友穂



平成25年度の全国安全週間が、

「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」

のスローガンの下、7月1日から7日までの間、全国的に展開されます。全国安全週間は、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、労働者に深く関わる産業界において「自主的な労働災害防止活動の推進」と「安全意識の高揚と安全活動の定

着」が図られることを目的として、戦中戦後の混乱期にも一度も中断することなく展開され、広く産業界へ安全の啓発の役割を担い続け、本年度86回目を迎えます。

産業安全に関係する皆様方のご理解の下、各種安全管理活動を通して安全水準は着実に向上してきておりますが、なお多くの労働災害が発生しております。

愛知県における最近の労働災害の発生状況を見ますと、年ごとに増減を繰り返しながらも減少傾向にありましたが、平成22年、平成23年と2年連続して増加しました。このため、平成24年は

労働災害の減少を最重点課題として取り組み、平成24年の休業4日以上の死傷者数は6392人と前年と比較して2・7%減少し、増加傾向に歯止めをかけることができました。

しかし、平成19年と比較して12・3%の減少にとどまり、平成20年度から平成24年度までを計画期間とした「第11次労働災害防止推進計画」の目標である15%以上の減少には及びませんでした。また、平成24年の死亡者数は、目標とした60人を大きく下まわり、49人と過去最少となりました。平成25年度から平成29年度までを計画期間とし

た「第12次労働災害防止推進計画」がスタートし、目標として平成29年において死亡者数について40人を下回ること、また死傷者数について平成24年と比較して15%以上減少

させることを定め、化学物質による健康障害防止対策等にも取り組むこととしています。

そのため、愛知労働局では、重篤な労働災害が多発している製造業と建

設業、全国的にも労働災害が増加している第3次産業の小売業、社会福祉施設と飲食店、及び陸上貨物運送事業を重点対象業種として集中的取組を実施することとしています。

特に第3次産業においては、危険箇所の見える化、危険予知活動や4S（整理、整頓、清掃、清

潔）の徹底により、転倒災害、腰痛防止等の取組を実施することとしています。

労働災害を防止するためには、労働安全衛生関係法令に規定される最低基準としての危害防止基準を遵守するだけでなく、危険性又は有害性の特定、リスクの見積り、リスク低減措置の検討等を行い、



第86回全国安全週間スローガン

高めよう 一人ひとりの安全意識

みんなの力でゼロ災害

その結果により安全対策を実施するリスクアセスメント等に積極的に取り組むことが重要であり、さらに労働安全衛生マネジメントシステムについても導入、定着を進めるなど労使による自主的な安全管理活動の推進を図っていただくことを期待しております。

我が国の経済情勢は依然として厳しい環境にあります。しかし、いかなる経済情勢下であっても安全衛生水準と活動の低下は許されません。是非、この全国安全週間に契機に、労働災害防止の重要性について改めて認識を深めていただき、安全活動の確実な実施を図っていただきますようお願いいたします。

労働保険年度更新説明会日程表

年度更新申告書の作成方法等について、「年度更新説明会」を開催しますので、ご参加ください。

月日	区分	時間	会場	会場所在地
6月6日(木)	一般	13:30~16:00	日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール (名古屋市民会館 中ホール)	名古屋市中区金山1-5-1
6月7日(金)	建設 雇用保険	13:30~16:00	日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール (名古屋市民会館 中ホール)	名古屋市中区金山1-5-1

- 建設業の事業場は「建設」または、「一般・建設」の説明会に、それ以外（製造業、卸小売業、サービス業等）の事業場は「一般」または「一般・建設」の説明会にご参加ください。
- 「雇用保険」（青色封筒・ふじ色申告書）は、名古屋市でのみの開催となります。
- 各会場において、年金事務所より「算定基礎届」の説明を行います。
- 事業場の所在地にかかわらず、いずれの会場にもご参加いただけます。
- 説明会には、同封の書類をお持ちください。
- ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

このほか、県内3会場で説明会を実施します。詳しくは、愛知労働局のホームページまたは、申告書に同封された『愛知労働局からのお知らせ』をご覧ください。